

日本動物行動学会

第31回大会 プログラム

2012.11.23 (金) – 25 (日)

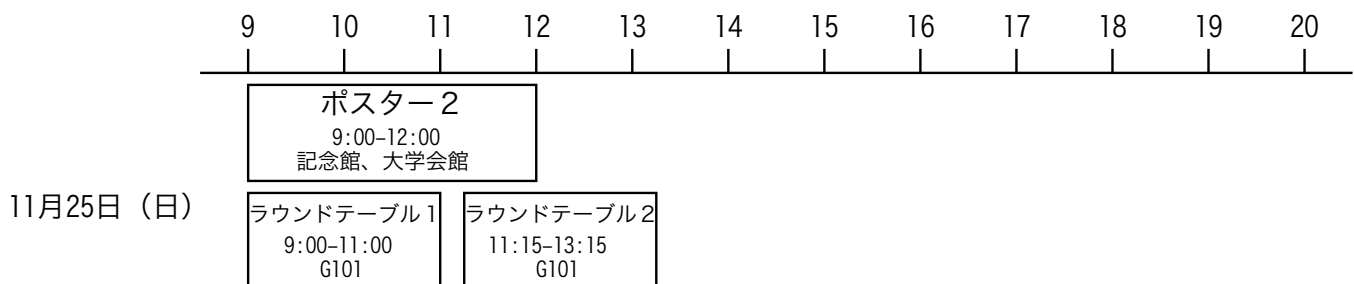
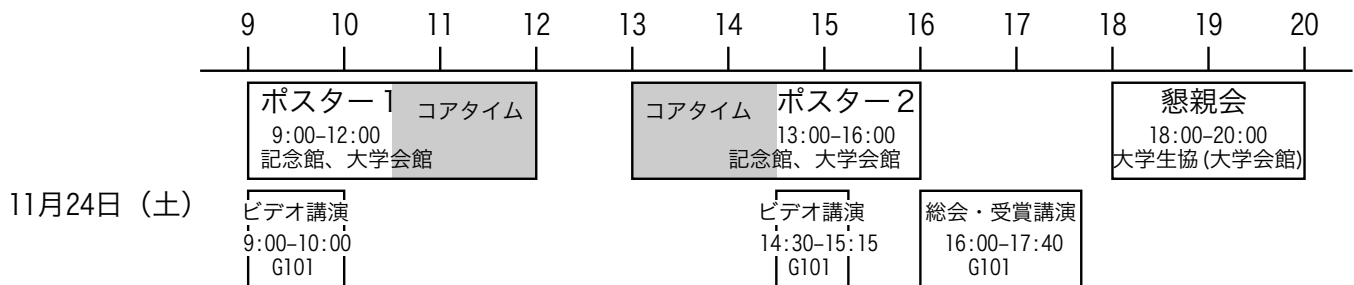
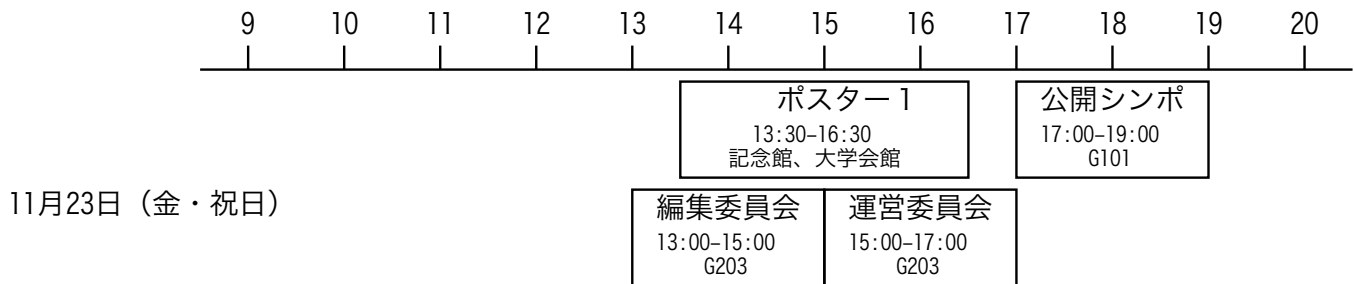
奈良女子大学

大会案内

[日程]

2012年11月23日(金・祝日)～25日(日)

- 11月23日(金) 各種委員会、ポスター発表、公開シンポジウム
- 11月24日(土) ポスター発表、ビデオ講演、総会・受賞講演、懇親会
- 11月25日(日) ポスター発表、ラウンドテーブル(2件)



ポスターコアタイム:

11/24 ポスター1 (10:30-12:00), ポスター2 (13:00-14:30)

クローク: G204 9:00-16:30 (11/23, 24), 9:00-15:30 (11/25)

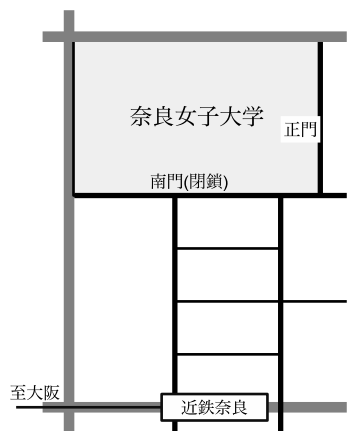
機器・書籍展示: G202 大会期間中随時

休憩室: G201, G203 (11/23 13:00-17:00を除く) 大会期間中随時

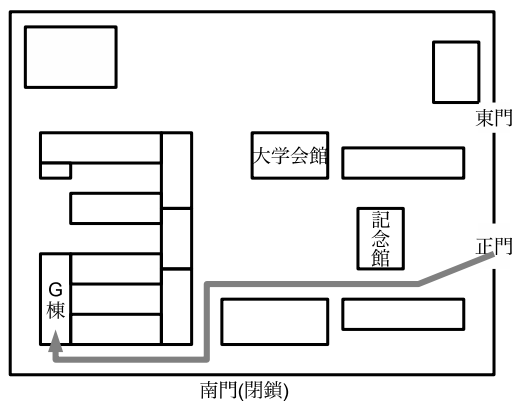
託児所: 12:30-17:30 (11/23), 8:30-20:30 (11/24), 8:30-15:30 (11/25)

[会場]

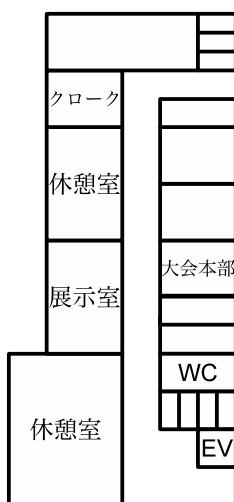
大会会場：国立大学法人・奈良女子大学（〒 630-8506 奈良市北魚屋西町）



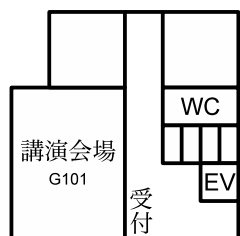
会場へのアクセス



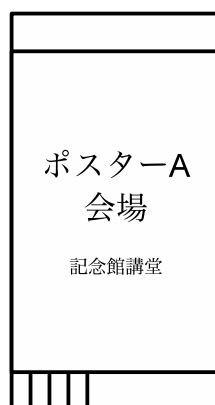
キャンパスマップ



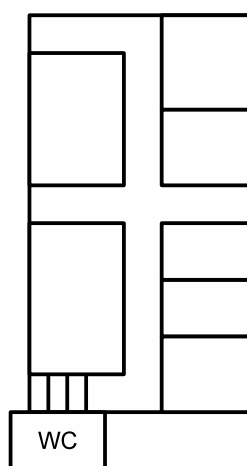
G棟 2F



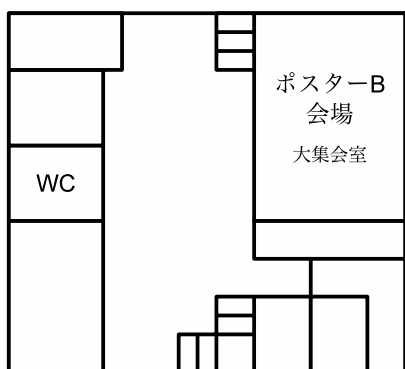
G棟 1F



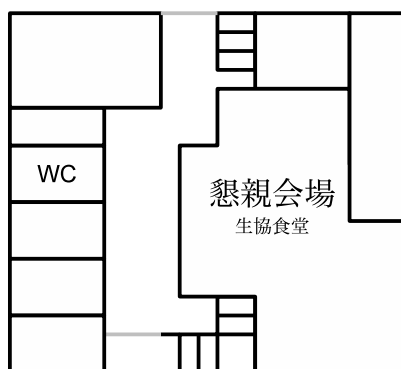
記念館 2F



記念館 1F



大学会館 2F



大学会館 1F

[受付]

11月23日は11:00から、24日と25日は8:30から開始します。受付の場所はG棟1階（G棟南側入り口付近）です。

当日参加の方は受付にて大会参加費（一般 6,500 円、学生 5,500 円）をお支払ください。懇親会については会場定員に達するまで当日申し込みを受け付けます。

[公開シンポジウム]

11月23日 17:00 - 19:00、G棟1階 G101にて公開シンポジウム「解き明かされる動物たちの多様な行動〜アリからサルまで〜」を開催します。皆さんこぞってご参加ください。本公開シンポジウムは奈良女子大学共生科学研究センター共催となります。

[ポスター講演]

奈良女子大学記念館2階ならびに大学会館2階にてポスター発表を行います。ポスター発表には2つのセッションを設け、ポスター1は11月23日と24日の午前、ポスター2は11月24日の午後と25日の午前とします。それぞれのセッションにコアタイムを設けます。コアタイム中はポスター発表者は可能な限り自分のポスター前にて説明をお願いします。

ポスターパネルの大きさは、幅90センチ、高さ180センチの予定です。

大会参加者の投票により、若手による科学的に優れた発表に対してポスター賞を若干名に授与します。ポスター賞受賞者には表彰状ならびに図書カード（5,000円分）が贈呈されます。11月24日の懇親会にて授賞式を執り行います。

[ビデオ講演]

ビデオ講演は、1件15分（質疑応答3分を含む）とします。動物の行動に関する興味深い映像を紹介するセッションです。11月24日にG101にて行います。講演者は極力ラップトップPCをご持参ください。

[懇親会]

11月24日（土）18:00 - 20:00、奈良女子大学生協にて開催します。懇親会費は、一般 7,000 円、学生 6,000 円です。収容人数になり次第懇親会参加を締め切らせていただきます。奈良でしか味わえない料理・お酒を用意する予定です。

[総会・受賞講演]

11月24日 16:00 - 17:40、G棟1階 G101にて総会および受賞講演を開催します。会員の方はご参加ください。

今年度の受賞者は以下の通りです。

日高賞 長谷川真理子 会員
学会賞 細川貴弘 会員

[休憩室]

G棟2階 G201 と G203 に休憩室を設けます。休憩、議論、各種打ち合わせなどにご自由にお使いいただけます。

[機器展示・図書販売]

業者による機器展示・図書販売の場を G棟2階 G202 に設ける予定です。

[クローク]

G棟2階 G204 にクロークを設けます。11月23日、24日は9:00から16:30まで、11月25日は9:00から15:30まで手荷物などを一時預かりします。なお貴重品はクロークには預けず、各自ご自分でお持ち願います。

[託児所]

奈良女子大学女性研究者共助支援事業本部の支援を受けて、奈良女子大学構内に託児所を設ける予定です。託児時間は

11月23日 12:30 - 17:30

11月24日 8:30 - 20:30

11月25日 8:30 - 15:30

を予定しています。

託児料は、利用時間・日数にかかわらず一律 8,500 円/人を予定しています。託児所を希望される方は、事前に大会実行委員会 ethology2012-info@lisboa.ics.nara-wu.ac.jp までご連絡ください。

[その他注意事項]

大学構内は禁煙です。またポスター会場となる記念館は重要文化財に指定されているため、建物内の飲食が固く禁じられています。

大学周辺には多数の飲食店があります。また、11月24日の昼食時には奈良女子大学生協食堂の営業を予定しています。ご利用ください。

[大会実行委員会]

大会委員長：和田恵次、庶務：遊佐陽一、会計：佐藤宏明、委員：高須夫悟、高橋 智、瀬戸繭美

連絡先：日本動物行動学会第31回大会実行委員会

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学理学部生物科学科気付

E-mail: ethology2012-info@lisboa.ics.nara-wu.ac.jp

「解き明かされる動物たちの多様な行動 ～アリからサルまで～」

日時：2012年11月23日（金・祝日）17:00 – 19:00

場所：奈良女子大学理学部 G 棟 1 階 G101

共催：奈良女子大学共生科学研究センター

趣旨

近年様々な動物群で、詳細な行動観察からこれまでの認識を変えるような新たな行動特性が見出されるようになりました。それは動物のもっている行動の多様性の重要性を示すものでもあります。日本の動物行動学者が近年見出した想像を絶するユニークな行動を紹介し、その発見がもたらす意義を共有します。

- 働くアリと働かないアリ
長谷川英祐（北海道大学大学院農学研究院）
- ほんとうは賢い魚たち — 魚類の認知能力
幸田正典（大阪市立大学大学院理学研究科）
- カラスの特異な食習性と地域食文化
樋口広芳（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）
- 反芻するサル？ ～ ボルネオ島にテングザルを追う～
松田一希（京都大学霊長類研究所）
- 総合討論
様々な動物群で明らかにされる新たな行動特性の発見は、どのような分野にどのような貢献をするのでしょうか。行動学、生態学、生物多様性学の中に位置づける議論を試みたいと思います。

ラウンドテーブル

ラウンドテーブル1

繁殖の偏りを変動させるもの～配偶者選択の可塑性と形質進化への影響

日時：11月25日 9:00 - 11:00

会場：G101

主催者：松本有記雄（長崎大学大学院）・狩野賢司（東京学芸大学）

動物は繁殖の際に、配偶相手の形態や行動の特徴を指標として、より適応度が高くなる相手と配偶しようとする。そして、この選り好みの結果、異性から好まれる形質を持つ個体の繁殖成功が高くなり、その形質が個体群中に広がると考えられている。しかし、実際に野外調査を行っていると性的形質の質からは予想できないような個体の繁殖成功が高くなったり、個体間の繁殖成功に大きな差が見られなかったりすることがある。それではこれらの現象は、理論的に説明できないイレギュラーな結果として理解してしまっているのだろうか？本ラウンドテーブルでは、配偶者選択における好みの変化や好みの対象となる形質の質の変化に着目して、高い繁殖成功をおさめる個体が短期間で入れ替わる、すなわち繁殖の偏りの変動が起こるメカニズムやその適応的意義を紹介する。そして、この偏りの変動が、性的形質の進化に与える影響を「形質の多型の維持」や「形質の発達度合い」などに着目して議論したい。

講演予定者：

松本有記雄（長崎大学大学院）

「ロウソクギンポ雄の求愛活性の変化と雌の非独立型配偶者選択がもたらす繁殖の偏りの変動」

高橋佑磨（東北大学大学院）

「好みの可塑性が生みだす形質の時空間動態」

古賀庸憲（和歌山大学）

「捕食リスクの変化が代替交尾行動への好みや配偶者選択に影響するか？シオマネキの一種、*Uca beebei* における幾つかの研究より」

工藤宏美・狩野賢司（東京学芸大学）

「グッピー雌の選り好みの短期的変動」

ラウンドテーブル2

行動生態学はオワコンか？ —明日の行動学へ向けて—

日時：11月25日 11:15 - 13:15

会場：G101

主催者：長谷川英祐（北海道大学大学院・農・生物生態体系）

現在、日本動物行動学会大会における講演のほとんどが行動生態学の研究である。行動生態学はその勃興以来、多くの注目を集め隆盛を極めたといつてよいだろう。しかし、最近主催者の周辺では「行動生態学はもうオワコン」という声が聞かれ、生物学を目指す新しい人からも魅力ある分野としてとらえられているかどうかは疑問の余地がある。主催者自身はこの数年間の大会に参加して、いい知れぬ「退屈感」を感じている。果たして、行動生態学は停滞しているのか？未来はあるのか？このラウンドテーブルでは、辻和希、工藤慎一、長谷川英祐という行動学に一家言もつ3人の演者を招き、現在の行動生態学、ひいては未来の行動学について考えを聞き、コメンテーター、会場を含めて議論したい。果たして、行動学の行く末は光の道か、はたまた第6の絶滅なのか？必見！三大怪獣地球最大の決戦。

辻 和希（琉球大・農）

「行動学会はガラパゴス化したか？土建屋としての行動生態学を見直そう」

工藤慎一（鳴門教育大・教育）

「行動生態学のお楽しみはこれから：学問体系の成熟の先に見えてきたもの」

長谷川英祐（北大院・農）

「「粹」にはまる快樂と墮落 —組織消長のメタダイナミクスから見た行動生態学—」

ポスター発表前半

日時： 11月23日 13:30 - 16:30, 11月24日 9:00 - 12:00

コアタイム： 11月24日 10:30 - 12:00

場所： ポスター A 会場 (記念館 2階, P1-01 から P1-36)

ポスター B 会場 (大学会館 2階, P1-37 から P1-75)

- P1-01 **性的対立からメスが被るコストの系統間比較：交尾受容の進化とコスト軽減**
○原野智広・杵掛展之 (総研大・先端科学)
- P1-02 **子を産まないオスに意義がある？-有性生殖のコストを考える-**
小林和也 (京大・農・昆虫生態)
- P1-03 **性的対立と性の維持：オスの不在がもたらす有性・単為系統間の違い**
川津一隆 (京大院・農・昆虫生態)
- P1-04 **雌の交尾回数と雄の射精量の関係：ストカスティックな効果と認識の効果**
○安部 淳 (神奈川大・理・生物)・上村佳孝 (慶応大・生物)
- P1-05 **ウメマツオオアリ (*Camponotus vitiosus*) 多女王及び単女王巢内の遺伝構造**
○白戸亮吉 (山形大院・理工)・佐藤俊幸・小山哲史 (東京農工大・農)・廣田忠雄 (山形大・理)
- P1-06 **どうもうちの娘が妹ばかり欲しがって困る -ホクダイコハナバチの繁殖虫性比におけるコロニー間変異-**
○八木議大・長谷川英祐 (北海道大学大学院・農学研究院・生物生態体系)
- P1-07 **高価な獲物を無駄なく探す：フタモンアシナガバチの同種他巢の幼虫捕食**
○古市生・粕谷英一 (九大・理・生態)
- P1-08 **オオハリアリの侵略機構：天敵解放仮説の検証**
○末広 亘 (岡大院・環境・進化生態)・辻和希 (琉・農・昆虫)・松浦健二 (京大・農・昆虫生態)
- P1-09 **トゲオオハリアリにおける順位行動ネットワーク**
○下地博之 (琉球大)・阿部真人・増田直紀・嶋田正和 (東京大)・辻和希 (琉球大)
- P1-10 **女王たちの椅子取りゲーム～ヤマトシロアリの女王はいつ、誰に入れ替わるのか～**
○山本結花 (岡大・環境・進化生態・京大・農・昆虫生態)・松浦健二 (京大・農・昆虫生態)
- P1-11 **アゲハ類の精子における運動活性**
○武藤直樹・渡辺 守 (筑波大・生物)
- P1-12 **ヤマトシジミにおける *Wolbachia* 感染は季節変動を示さない**
○角拓人 (岡山大院・環境生命)・三浦一芸 (近中四農研セ)・宮竹貴久 (岡山大院・環境生命)
- P1-13 **キタキチョウの季節型と雄の注入精子数**
○小長谷達郎 (筑波大・生命環境)・渡辺 守 (筑波大・院・生命環境)
- P1-14 **血縁雄との交尾がナミアゲハの雌の精子選択に与える影響**
○佐々木那由太・渡辺 守 (筑波大・院・生命環境)

- P1-15 **アジアイトトンボの精子競争に影響を与える交尾器形態の季節変異**
○田島裕介・渡辺 守 (筑波大・院・生命環境)
- P1-16 **テントウムシの天井歩行にともなう歩行パターンの変化**
○種田耕二・川上麻姫 (高知大・理・生)・古井京子 (高知県立大・生活科学)
- P1-17 **成虫と幼虫でのパーソナリティーの比較：コクヌストモドキ類における擬死と活動性の相関**
○松村健太郎 (岡大院・環境)・中山慧 (九大院・理/リバプール大)・瀧側太郎 (京大院・農/ヘブライ大)・岡田賢祐・宮竹貴久 (岡大院・環境)
- P1-18 **高密度環境での累代飼育によってメスの交尾抵抗性は低下する**
○栗和田隆 (九沖農研)・熊野了州・城本啓子 (沖縄防技セ)・原口大 (沖縄農研)
- P1-19 **発表キャンセル**
- P1-20 **移入により生じたブタクサハムシの食草範囲拡大**
土居勇人 (農工大・農)・深野祐也 (九大院・シス生)・○小山哲史・佐藤俊幸・普後一 (農工大・農)
- P1-21 **外来昆虫ブタクサハムシは、侵入に伴って食草範囲が拡大した**
○深野祐也 (九大・理)・土居勇人 (農工大・農)
- P1-22 **石垣島に生息するニイニイゼミ 2 種の主鳴音の特徴**
○立田晴記 (琉球大・農)・佐々木健志 (琉球大・風樹館)
- P1-23 **メスまでの距離に応じてオスの求愛戦略を可塑的に制御する嗅覚フェロモン受容**
江島亜樹 (京大・CPLS)
- P1-24 **香り化学情報物質による種間相互作用と生態系の安定性について**
○坂井恵・鈴木泰博 (名古屋大・情報科学)
- P1-25 **コバネイナゴの自切しやすさと鳥類捕食者の捕食様式**
○鶴井香織 (弘前大・男女共同参画)・西田隆義 (滋賀県大・環境生態)
- P1-26 **警告色で隠れる？ヒメキシタヒトリの前翅色斑パターンが持つ多機能性**
○本間 淳 (ユヴァスキュラ大・日本学術振興会海外特別研究員)・Janne Valkonen・Johanna Mappes (ユヴァスキュラ大)
- P1-27 **捕食者との遭遇経験が円網性クモの網場所移動に与える影響**
○中田兼介 (京都女子大)・丑丸敦史 (神戸大・発達科学)
- P1-28 **タケスゴモリハダニの 2 型間における交尾行動の非対称性**
蔡永海・横山菜々子・○伊藤桂・福田達哉・荒川良 (高知大・農)・齋藤裕 (北大院・農)
- P1-29 **ハクセンシオマネキのケンカ：貧弱な武器を持つオスはどのように戦うのか？**
村松大輔 (京大・野生動物)
- P1-30 **矮雄をもつ海洋生物における雌雄性の進化ゲーム**
○山口幸 (九大・院・理)・澤田紘太 (総研大)・遊佐陽一 (奈良女大・理)・巖佐庸 (九大・理)
- P1-31 **オオグソクムシ (等脚目スナホリムシ科) における能動的な巣穴掘り行動**
○隈江俊也・森山徹 (信州大・繊維)

- P1-32 **アメリカウミザリガニにおける目標指向行動の行動生理学的解析**
○冨菜雄介（北大・院・生命科学院）・高畑雅一（北大・院理・生命理学）
- P1-33 **何れが気になる？アオリイカにおける鏡像と実像への関心比較**
池田 譲（琉球大・理・海洋自然）
- P1-34 **トラフコウイカの隠蔽能と記憶・学習の発達への環境エンリッチメント効果**
○安室春彦（琉球大院・理工・海洋環境）・池田 譲（琉球大・理・海洋自然）
- P1-35 **Ontogeny of vision of oval squid with special reference to retinal morphology**
Shuhan Lei (Ocean Univ China)・Chikatoshi Sugimoto (Univ Ryukyus)・Xiumei Zhang(Ocean Univ China)・Yuzuru Ikeda (Univ Ryukyus)
- P1-36 **隠蔽行動を通じて見たトラフコウイカの色弁別能**
○三登龍一（琉球大院・理工・海洋自然）・池田 譲（琉球大・理・海洋自然）
- P1-37 **野外のグッピーにおける雄形質と雌の選好性の変動**
○工藤宏美・狩野賢司（東京学芸大）
- P1-38 **一夫多妻魚ホンソメワケベラの独身雄の雌獲得戦術:逆方向性転換に注目して**
○門田 立（水研セ西海水研）・桑村哲生（中京大国際教養）・鈴木祥平（琉球大亜熱帯島嶼科学）
- P1-39 **ハナハゼがペアを替えるワケ**
○鈴木翔子・木村瑞紀（東海大海洋）・岩瀬文人（黒潮研）・中野正夫（Seahorse）・赤川泉（東海大海洋）
- P1-40 **館山湾に生息するベラ科オハグロベラの配偶者選択**
○遠藤周太・清水庄太・佐々木雄大・須之部友基（海洋大・館山ステーション）
- P1-41 **クモハゼのスニーカー雄間の精子競争：社会的地位が精巣投資に与える影響**
川瀬翔馬（長崎大・院水環）・林 貴浩（長崎大・水産）・松本 有記雄・○竹垣 毅（長崎大・院水環）
- P1-42 **メダカにおける配偶者獲得競争と配偶者選好性の緯度間変異**
○藤本真悟（琉球大・院・理工学）・山平寿智（琉球大・熱生研）
- P1-43 **チェリーバルブの配偶者選択と精子の質**
福田祥子・○狩野賢司（東京学芸大・生物）
- P1-44 **乱婚でも協力的な雄は多くの交尾成功を得るか：ヤツメウナギによる実験**
○山崎千登勢・小泉逸郎（北大・環境科学院）
- P1-45 **大回転！ダイナミックなカエルアンコウの繁殖行動**
○高橋大樹・村主暁重・赤川泉（東海大海洋）
- P1-46 **配偶時の授受精子量や複数回配偶がグッピー雌の産子数や産子回数に与える影響**
○佐藤綾（東北大学・生命）・粟飯原隆一（都立新宿山吹高校）・狩野賢司（東京学芸大学・教育）
- P1-47 **シマヘビに対するトカゲの逃避間合いと速度**
原田龍一（佐賀大学 農学部）
- P1-48 **ヒメハブにおける餌の匂いに対する選好性の島嶼間比較**
○角田羊平（京都大・理・動物）・戸田守（琉球大・熱生圏）・森 哲（京都大・理・動物）

- P1-49 **ヘビのマターナルケア？ヤマカガシの母親は有毒餌を好む**
○児島庸介・森 哲（京大・理）
- P1-50 **状況に依存したジュウシマツの地鳴き行動**
○長田翠・竹内浩昭（静岡大・院理）
- P1-51 **セキセイインコにおける自己鏡像認知能力の検証～鏡に対する行動実験～**
○井戸希・竹内浩昭（静岡大・院理）
- P1-52 **鳥の複雑なさえずりの進化的デザイン**
○笹原和俊（名古屋大・情報）・Martin L. Cody（UCLA）・Charles E. Taylor（UCLA）
- P1-53 **ブンチョウにおける草遊び行動がおよぼす採餌タスク学習への影響**
○岡野淳一（京大・生態学研究セ）・相馬雅代・阿部万純（北大・理）
- P1-54 **学習臨界期以降の加齢に伴うブンチョウの歌の変化**
○太田菜央（北大・院生命科学・生命システム科学）・相馬雅代（北大・院理・生物科学）
- P1-55 **家禽化に伴う行動形質の変化：ジュウシマツとその野生種による検討**
○鈴木研太^{1,2}・池淵万季^{1,2}・香川紘子^{2,3}・小池巧²・浅井圭子²・岡ノ谷一夫^{1,2,3}（¹JST-ERATO・岡ノ谷情動情報,²理研 BSI,³東大院・総合文化）
- P1-56 **ディスタンスコール鳴き交わし行動における扁桃核の関わり**
○池淵万季^{1,2}・岡ノ谷一夫^{1,2,3}（¹JST-ERATO・岡ノ谷情動情報,²理研 BSI,³東大院・総合文化）
- P1-57 **ジュウシマツの馴化・脱馴化法による歌弁別には刺激特異性が高い**
○小野聡子（東京大・教養）・香川紘子・高橋美樹（東京大）・関義正（理研 BSI・JST-ERATO）・岡ノ谷一夫（東京大・理研 BSI・JST-ERATO）
- P1-58 **シジュウカラの警戒声にみる捕食者特異性と段階的な構造変化**
鈴木俊貴（立教大・理）
- P1-59 **セキセイインコの大合唱**
○阿部仁美（帝京科学大学・理工学研究科・理研）・岡ノ谷一夫（東大・総合文化・JST）・桜井富士朗（帝京科学大学・理工学研究科）・関義正（東大・総合文化・理研・JST）
- P1-60 **文鳥における歌のパフォーマンスと複雑さの進化**
○香川紘子（北大・理 / 東大・総文）・相馬雅代（北大・理）
- P1-61 **ハシブトガラスの発声行動は社会的順位の影響を受けるか**
○近藤紀子（帝京大・心理）・伊澤栄一（慶應大・心理）
- P1-62 **発声学習鳥種における発声によらない求愛音**
○相馬雅代（北大・院理）
- P1-63 **アジアゾウの鼻による接触行動の機能**
○安井早紀（京都大・野生動物研究センター・日本学術振興会）・伊谷原一（京都大・野生動物研究センター）
- P1-64 **オオカミにおけるあくびの伝染について**
○伊藤珠恵（東京大・総合文化修士2年）・テレサ ロメロ・齋藤慈子・長谷川寿一（東京大・総合文化）

- P1-65 **コウモリの障害物空間飛行時におけるパルス放射方向の変化**
○山田恭史・岡有恵・藤岡慧明・飛龍志津子・太田哲男・力丸裕・渡辺好章（同大）
- P1-66 **ハクジラ類の音響進化～ラブラタカワイルカの鳴音の音響特性**
○森阪匡通（京都大・野生動物研セ）・Marta J. Cremer・Annelise C. Holz・Camila M.Sartori・Beatriz Schulze（Projeto Toninhas・Universidade da Regio deJoinville）・赤松友成（水研セ・水工研）
- P1-67 **イロワケイルカにおける接触を伴う社会行動の左右性**
○酒井麻衣（京大・野生動物研セ・学振）・森阪匡通（京大・野生動物研セ）・若林郁夫・世古篤史・笠松雅彦（鳥羽水族館）
- P1-68 **キタオットセイ成熟メスの育子期中の採餌トリップにおける行動時間配分**
○三谷曜子（北大・FSC）・Vladimir N. Burkanov（National Marine Mammal Laboratory・Kamchatka Branch of the Pacific Institute of Geography）・Russel D.Andrews（Alaska SeaLife Center・University of Alaska Fairbanks）
- P1-69 **鯨類の半球睡眠は体温保持が目的か？**
○関口雄祐（千葉商大）・井上聡・荒井一利（鴨川シーワールド）
- P1-70 **飼育下ワモンアザラシ（*Pusa hispida*）における水中音声の機能推定**
○水口大輔（京大・野生動物）・角川雅俊（おたる水族館）・幸島司郎（京大・野生動物）
- P1-71 **伊勢湾・三河湾における 2012 年夏のスナメリ分布**
○木村里子・依田憲（名古屋大・環境）・赤松友成（水産セ・水工研）
- P1-72 **少子化の進化生物学：子どもの数や有無に影響を与える要因**
○森田理仁（総研大・先端科学・生命共生体進化学）・大槻久（総研大）・佐々木顕（総研大／IIASA）・長谷川真理子（総研大）
- P1-73 **ロコミサイトはヒトを賢くするか：Multi-Armed Bandit 問題における人気情報と“ロコミ”の効果**
○豊川航（北海道大学・日本学術振興会）・亀田達也（北海道大学）
- P1-74 **あなたは虫が好き？昆虫に対するヒトの行動について**
○坂本陸王・川城勇太・服部真奈・岡田里美・樋口真美・谷山陽香・今野翔平・神谷桜（大阪府立枚岡樟風高）
- P1-75 **素潜り漁における潜水行動**
○森貴久（帝京科学大学）・内藤靖彦（バイオロギング研究所）・高橋晃周（極地研究所）

ポスター発表後半

日時： 11月24日 13:00 – 16:00, 11月25日 9:00 – 12:00

コアタイム： 11月24日 13:00 – 14:30

場所： ポスター A 会場 (記念館 2階, P2-01 から P2-36)

ポスター B 会場 (大学会館 2階, P2-37 から P2-75)

- P2-01 卵生産様式によって決まる最適な産卵タイミングと産卵頻度**
曾我部篤 (東北大・浅虫臨海)
- P2-02 捕食者存在下における最適ランダム探索戦略**
○阿部真人・嶋田正和 (東大・広域システム)
- P2-03 アリの経路選択における視覚情報の効果**
○篠田諭・得富靖浩・中克仁・泉俊輔・粟津暁紀・西森拓 (広島大学院・理)
- P2-04 クロオオアリの論理トレーニング**
○崎山朋子・郡司幸夫 (神戸大・理)
- P2-05 庭アリ (*Lasius niger*) の道標使用に関するポイント・オープン論理階層モデル**
○郡司ベギオ幸夫・崎山朋子 (神戸大・理・地球惑星科学)
- P2-06 フェロモン・トレイル上における優先順位規則のロボット群での検証**
○藤澤隆介 (八戸工業大)・土畑重人 (琉球大)・松野文俊 (京大)
- P2-07 『競争 緑と赤と黒いアリ』～ヨモギヒゲナガアブラムシの色彩**
○村上大賀・長谷川英祐 (北大院・農・生物生態体系)
- P2-08 ハグルマエダシャクにおける飛翔行動の雌雄間比較**
櫻井麗賀 (立教大学・理)
- P2-09 死体は語るかーチョウの飛翔行動を死後硬直姿勢からさぐるー**
○大秦正揚・小西翔平・坂口勇太・林利樹・三上浩史 (京都学園大学)
- P2-10 自然界に持久戦は存在するか?**
竹内剛 (京大・生態研)
- P2-11 シラホシコヤガ幼虫は餌でできた地衣類のかくれみのを非常食にできるのか**
東島康峻 (早稲田佐賀高等学校・2年生)・○安元暁子 (早稲田佐賀高等学校)
- P2-12 ハマベハサミムシの育児のコストはどこにかかるか**
鈴木誠治 (北大・農)
- P2-13 フタイロカミキリモドキの奄美個体群における性選択**
○小汐千春・高嶋宏・小笠航 (鳴門教育大・学校教育)・立田晴記 (琉球大・農)・工藤慎一 (鳴門教育大・学校教育)
- P2-14 イワワキオサムシにおける雌の交尾経験に対応した雄の投資調節**
○丸山航・高見泰興 (神戸大・人間発達環境)

- P2-15 **ミツボシツチカメムシの社会形態は子の発育段階に左右される**
○徳永春陽（佐賀大・農）・向井裕美（鹿大院・連合農学）・野間口真太郎（佐賀大・農）
- P2-16 **ミツボシツチカメムシの給餌行動と寄主選択**
○野間口真太郎・富久静（佐大・農）・向井裕美（鹿大院・連合農学）
- P2-17 **コバネヒョウタンナガカメムシの繁殖行動における飢餓の影響**
○日室千尋（岡大院・環境・進化生態）・藤崎憲治（岡山県赤磐市）
- P2-18 **オサムシ科甲虫とオオヒラタシテムシの二次林植生攪乱に対する反応の差違**
○渋谷園実・Zaal Kikvidze・福田健二（東大院・自然環境）・久保田耕平（東大院・農）・大澤雅彦（雲南大学・生態）
- P2-19 **ホソヘリカメムシにおけるメスの交尾前配偶者選択**
○洲崎雄・香月雅子・宮竹貴久（岡大院・環境・進化）・岡田泰和（東大院・総合文化・広域システム）・岡田賢祐（岡大院・環境・進化）
- P2-20 **フタボシツチカメムシ雌親の孵化振動を解発する胚由来の刺激**
○向井裕美（鹿大院・連合農）・弘中満太郎（浜松医大・生物）・野間口真太郎（佐賀大・農）
- P2-21 **カミキリムシの摂食は、連続的ではなく断続的な振動によって阻害される**
○深谷 緑（東大・農・日大・生物資源）・高梨琢磨（森林総研）
- P2-22 **ノコギリクワガタとミヤマクワガタの大顎の機能形態—技との密接な関係？—**
○本郷儀人（立命館大学）・来田村輔（京都市）
- P2-23 **ゴキブリはどのようにして匂い源へ向かうのか？**
○三高雄希・佐久間正幸（京大院農・昆虫生理）
- P2-24 **ヨツボシモンシテムシにおける非同調孵化の適応的意義**
○高田守（農工大・連合農学）・小山哲史・佐藤俊幸（農工大・獣医）・普後一（農工大・連合農学）
- P2-25 **里山景観に生息するナミアメンボとヒメアメンボの群れ構造と繁殖戦略**
高橋 玄（筑波大・生命環境・生物）
- P2-26 **チョウセンカマキリの性的共食いに伴う交尾時間延長の適応的意義**
○森本幸太郎・高見泰興（神戸大・人間発達環境）
- P2-27 **コブルリオトシブミ *Euops pustulosus* SHARP（昆虫綱、鞘翅目、オトブミ科）のゆりかご形成行動について**
櫻井一彦（成城大・社会イノベーション）
- P2-28 **イトマキヒトデの歩行における体構造と管足運動の効果**
○右田正夫（滋賀大・教育）・篠原修二（アルゴグラフィックス）
- P2-29 **キイロウミウシ属の配偶行動と内部生殖器系の形態**
山梨津乃・村山大輔・朝比奈潔（日大・生物資源）・関澤彩真（大阪市大・理）・○中嶋康裕（日大・経済）
- P2-30 **「精子掻き出し」を DNA 分析によって初めて検証**
○関澤彩真・後藤慎介（大阪市大・院理）・中嶋康裕（日大・経済）

- P2-31 **カタツムリで見られる交尾相手の行動操作：再交尾への影響**
○木村一貴・渋谷佳士・千葉聡（東北大・院・生命）
- P2-32 **カタツムリよる左右二型の識別と交尾行動**
○石崎悠人・浅見崇比呂（信州大・理・生物）
- P2-33 **ミナミアフリカヤリイカにおける代替繁殖戦術間の日齢・初期成長量の比較**
○佐藤成祥（長崎大院・水産）・岩田容子（東京大・大気海洋研）・Paul Shaw（Aberystwyth University）・Warwick Sauer（Rhodes University）
- P2-34 **アオリイカの群れを形作るソーシャルネットワークの構造特性**
○杉本親要（琉球大・理・海洋自然／日本学術振興会）・池田 讓（琉球大・理・海洋自然）
- P2-35 **アオリイカの摂餌行動に及ぼす集団の効果**
○西林孝紘（琉球大院・理工・海洋自然）・池田 讓（琉球大・理・海洋自然）
- P2-36 **捕食者の位置情報に応じて表出されるトラフコウイカの体色パターン**
○岡本光平・森 哲（京大院・理・生物）・池田 讓（琉球大・理・海洋自然）
- P2-37 **カムルチーのマイホーム選択ー広げりゃ良いってわけじゃない！ー**
佐藤拓也・市原朋子・川島優作・○赤川 泉（東海大海洋）
- P2-38 **ハゼ科アオギハゼ *Trimma tevegae* の社会構造と性転換**
○戸松紗代・小木曾恵太・須之部友基（海洋大・館山ステーション）
- P2-39 **アマゴの秘密基地を作ろう!! ー倒流木の設置に対するアマゴの反応ー**
○植島弘隆・松村哲・齋藤竜也（東海大院海洋）・佐藤祐也・櫻岡拓也（東海大海洋）・中道一彦（気田川漁協）・赤川泉（東海大海洋）
- P2-40 **協同繁殖魚ブリシャーディは顔の特徴で個体を識別する**
○谷山雅美・小坂直也・武山智博・幸田正典（大阪市大・院・理）
- P2-41 **タンガニイカ湖産カワスズメ科魚類における優劣関係の推移的推察**
○堀田崇・武山智博・幸田正典（大阪市大・院・理）
- P2-42 **ニシキベラの生活史と性転換**
○横川翔大・須之部友基（海洋大・館山ステーション）
- P2-43 **ベラ科キュウセンにおける可変的な社会構造の成立機構に関する生態学的研究**
○多田篤司・坂井陽一（広島大学院・生）
- P2-44 **カタクチイワシ仔魚の濁度走性の個体発生**
○大畑 亮輔・益田 玲爾・山下 洋（京大フィールド研）
- P2-45 **「たまに」水から出る魚タネギンポ：その実態を探る**
○木村祐貴・坂井陽一（広島大院・生物圏）
- P2-46 **魚が釣られにくくなる過程の心理学**
○高橋宏司・益田玲爾（京大フィールド研セ）
- P2-47 **タンガニイカ湖産鱗食魚の捕食行動における利きの発達**
○竹内勇一（名大・理・学振研究員-SPD）・堀道雄（京大・理）・小田洋一（名大・理）

- P2-48 **協同的一妻多夫魚の雌による雄の父性認識の操作とその効果**
○李 寧・山内考太・坂井茜・武山智博・幸田正典 (大阪市大・院・理)
- P2-49 **アホロートルの摂餌行動：食物温度、環境温度に依存した嗜好性の変化**
○川上遙・竹内浩昭 (静岡大・院理)・大西美咲 (静岡サイエンススクール)
- P2-50 **オタマジャクシの「群れ」形成における血縁・系統関係が及ぼす影響**
○長谷和子・阿部真人・嶋田正和 (東大院・広域システム)
- P2-51 **繁殖期における海鳥の帰巣に関わる時間的制約**
○塩見こずえ (東京大・大海研)・依田憲 (名古屋大・環境)・佐藤克文 (東京大・大海研)
- P2-52 **島へのイタチ移入と鳥の巣高変化：学習か淘汰か？**
○濱尾章二 (国立科博・動物)・樋口広芳 (慶應大・政策メディア)・内田博 (比企野生生物研究所)
- P2-53 **大空を飛ぶ鳥の気持ちを知りたいモデリング**
島谷健一郎 (統計数理研究所)
- P2-54 **環境変化が野生のウミネコの行動やテロメアに及ぼす影響**
○水谷友一 (名大院・環境)・富田直樹 (山階鳥研)・新妻靖章 (名城大・農)・依田憲 (名大院・環境)
- P2-55 **野鳥の群れ行動について—ムクドリを例に—**
○田谷以生・桜谷保之 (近畿大・農)
- P2-56 **タンチョウのダンス：シークエンス解析から探る双方向コミュニケーションの特徴**
○武田浩平・長谷川真理子・沓掛展之・大槻久 (総研大・先導研)
- P2-57 **性的不能なシジュウカラのオスは浮気されるか — 受精保険仮説の実験的検証**
○油田 照秋・乃美大佑 (北大・環境科学院)・小泉 逸郎 (北大・創成)
- P2-58 **移動経路追跡から見られたカツオドリにおける複数の採餌パターン**
○筒井康太¹・水谷晃²・村越未来²・河野裕美²・依田憲¹ (¹名古屋大・環境,²東海大・沖縄)
- P2-59 **捕食者タイプとそのリスクに応じたダイトウメジロの対捕食者行動**
○堀江明香・高木昌興 (大阪市立大・理学研究科)
- P2-60 **都市部沿岸で繁殖するカワウの移動・採食行動**
○山本純也・依田憲 (名古屋大院・環境)
- P2-61 **集団飼育下エゾヒグマの攻撃行動および社会性—試薬投与および去勢の影響—**
○夏坂美帆 (帯畜大野生動物管理)・小林恒平 (岐阜大院連合獣医学)・松井基純 (帯畜大獣医臨床繁殖)・柳川久 (帯畜大野生動物管理)
- P2-62 **フンをしたのはだれだ？違いがわかるノネコ**
○谷あゆみ (九大・シ生態研)・石原茜 (京大・野生研)・粕谷英一 (九大・理)・村山美穂 (京大・野生研)
- P2-63 **ビーグル犬における SLC6A3 遺伝子と ADHD 様行動の関連について**
倉地卓将・小山哲史・○佐藤俊幸 (農工大)・村瀬香織 (東大)・西出雄大 (農生研)
- P2-64 **イエネコにおける飼い主の感情音声に対する反応**
伊東夕貴 (東京大・教養) 齋藤慈子・長谷川寿一 (東京大・総合文化)

- P2-65 **スナネズミにおけるコミュニケーション音声知覚に相関する脳活動**
○鳥越祐樹・小林耕太・力丸裕（同志社大・知覚認知脳神経機構研究室）
- P2-66 **スナネズミにおける聴覚と視覚情報の時間的な統合**
諏訪洋一・○小林耕太・力丸裕（同志社大・生命）
- P2-67 **里子兄弟におけるコモンマーモセットの音声発達と可塑性**
○加藤陽子・石井一・須原哲也・南本敬史（放医研・分子神経）
- P2-68 **ニホンザルはどんなときに鳴き交わしをするのか：呼びかけと応答**
○鈴木真理子・杉浦秀樹（京大・野生動物）
- P2-69 **チンパンジーにおける生物・非生物の区別**
○村井千寿子（玉川大・脳科学研究所）・友永雅己（京都大・霊長類研究所）
- P2-70 **霊長類における乳児画像への選好性の検討**
○佐藤杏奈・香田啓貴（京都大学・霊長類研究所）・Alban Lemasson(レンヌ第一大学)・南雲純治・正高信男（京都大学・霊長類研究所）
- P2-71 **野生チンパンジーの夜の行動**
○座馬耕一郎（林原類人猿研究センター）
- P2-72 **野生チンパンジーが社会的遊びを通じて形成する社会的ネットワーク**
○島田将喜（帝京科学大・アニマルサイエンス）・Cédric Sueur（Centre National de la Recherche Scientifique, France; Université de Strasbourg, France）
- P2-73 **飼育チンパンジーにおける長距離音声によるコミュニケーション**
松阪崇久（関西大・人間健康）
- P2-74 **動物の異常行動と地震との関係に関する研究**
○矢田直之・三井美佳（神奈川工大・工）
- P2-75 **「かわいらしさ」における生物多様性とその特徴**
○堀内洋平・岡野めぐみ・石川裕貴・植田浩史・高良真佑子・松田すみれ・千田海帆・竹本雅則・藤井太基・桜谷保之（近畿大・農）

ビデオ講演

日時： 11月24日 9:00 – 10:00, 14:30 – 15:15

場所： 講演会場 (G101 教室)

- 9:00 V-1 **海底に巨大な幾何学模様の構造物をつくるフグの繁殖行動**
○川瀬裕司 (千葉中央博・海)・大方洋二 (写真家)・伊藤公昭 (マリンステーション奄美)
- 9:15 V-2 **クモハゼ・ネストホルダー雄によるスニーキング防衛行動**
○川瀬翔馬・竹垣 毅 (長崎大・院水環)
- 9:30 V-3 **文鳥の求愛ディスプレイダンスの構成・社会文脈・発達**
○岩間翠 (北大・生命科学院)・相馬雅代 (北大院・理)
- 9:45 V-4 **メンバーがアルファオスの死に直面したとき：野生チンパンジーの事例**
○井上紗奈 ((株)林原類人猿研究センター)・Stefano S. K. Kaburu (University of Kent)・Nicholas E. Newron-Fisher (University of Kent)
-
- 14:30 V-5 **おしりに松脂を詰めるカメムシ!? その名もヤニサシガメ**
○岡西宏之 (大阪府大阪市)・石川忠 (東大・総合文化)・藤崎憲治 (岡山県赤磐市)
- 14:45 V-6 **カブトムシの捕食者：誰が長い角のオスを食べているのか**
○小島 渉¹・杉浦真治²・楨原 寛²・石川幸男¹・高梨琢磨² (¹ 東大農学生命、² 森林総研)
- 15:00 V-7 **ゴミグモ類に寄生するクモヒメバチ *Reclinervellus* spp. の寄主操作**
○高須賀圭三 (神戸大・農・昆虫多様性, 学振PD)・中田兼介 (京女大・現社)・松本 吏樹郎 (大阪自然史博)・前藤薫 (神戸大・農・昆虫多様性)

参加者一覧

○: 懇親会参加, P: ポスター, V: ビデオ, R: ラウンドテーブル, S: 公開シンポジウム

懇親会	氏名	所属	講演番号
○	赤川泉	東海大・海洋	P1-39, P1-45, P2-37, P2-39
○	安部淳	神奈川大・理・生物	P1-04
○	阿部仁美	帝京科学大・理工・アニマルサイエンス	P1-59
○	阿部真人	東大・総合文化・広域システム	P1-09, P2-02, P2-50
○	安房田智司	新潟大・理・臨海	
○	池田 譲	琉球大・理・海洋自然	P1-33, P1-34, P1-36, P2-34, P2-35, P2-36
○	池淵万季	JST-ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト・理研	P1-55, P1-56
	石崎悠人	信州大・理・生物	P2-32
○	石田 惣	大阪市立自然史博	
	市原朋子	東海大学海洋	P2-37
○	井手勇旗	長崎大学水産学部進化・行動生態学研究室	
○	井出貴彦	神戸市立須磨海浜水族園	
○	伊藤桂	高知大・農・昆虫生態	P1-28
	伊藤珠恵	東京大・総合文化	P1-64
○	伊東夕貴	東京大・教養	P2-64
	井戸希	静岡大学大学院・理・生物	P1-51
	井上紗奈	(株) 林原類人猿研究センター	V-4
	岩間翠	北大生命科学	V-3
	江島亜樹	京大・CPLS	P1-23
	江副日出夫	大阪府大・院理・生物	
○	遠藤周太	海洋大・館山ステーション	P1-40
	大嶋康裕		
	太田菜央	北大・院生命科学・生命システム科学	P1-54
○	大塚公雄		
○	大秦正揚	京都学園大学	P2-09
	大畑亮輔	京大・フィールド研	P2-44
○	岡西宏之	大阪府大阪市	V-5
○	岡野淳一	京大・生態学研究セ	P1-53
	岡部貴文	大阪市立大・理・生物	
○	岡本光平	京大院・理・生物	P2-36
○	小木曾恵太	海洋大・館山ステーション	P2-38
○	長田翠	静大・理・生物	P1-50
○	小野聡子	東京大・教養・認知行動	P1-57
○	香川紘子	東大・総合・広域 / 北大・理・生	P1-55, P1-57, P1-60
○	粕谷英一	九大・理・生物	P1-07, P2-62
○	加藤陽子	放医研・分子神経	P2-67
	門田立	水研セ西海水研	P1-38
○	角田羊平	京都大・理・動物	P1-48
○	狩野賢司	東京学芸大・生物	P1-37, P1-43, P1-46, R1
	河上康子	高槻市	
	川上遙	静岡大・理・生物	P2-49
	川口利奈	九州大・理・生物	
	川島優作	東海大学海洋学部赤川研究室	P2-37

○	川瀬 翔馬	長崎大・院水環	P1-41, V-2
	川瀬裕司	千葉中央博・海	V-1
○	川津一隆	京大院・農・昆虫生態	P1-03
	北田裕也	鹿児島大学大学院・教育学研究科・生物	
	木村一貴	東北大・院・生命	P2-31
○	木村里子	名古屋大・環境	P1-71
○	木村瑞紀	東海大海洋	P1-39
○	木村祐貴	広島大院・生物圏	P2-45
○	工藤慎一	鳴門教育大・院・学校教育	P2-13, R2
○	工藤宏美	学芸大・生物	P1-37, R1
	隈江俊也	信州大・繊維・応生・バイオ	P1-31
○	栗和田隆	農研機構・九沖農研	P1-18
	黒川瞬	東京大・理・生物科学	
○	桑村哲生	中京大・国際教養	P1-38
	郡司ペギオ幸夫	神戸大・理・地球惑星科学	P2-05
○	古賀庸憲	和歌山大・教育	R1
○	小汐千春	鳴門教育大・学校教育	P2-13
	児島庸介	京大・理・動物行動	P1-49
	小島 渉	東大・農学生命	V-6
○	小長谷達郎	筑波大・生命環境・生物	P1-13
○	小林和也	京大・農・昆虫生態	P1-02
○	小林耕太	同志社大学・生命・医情	P2-65, P2-66
○	小山哲史	農工大・農	P1-05, P1-20, P2-24, P2-63
○	近藤紀子	帝京大・心理	P1-61
	齋藤慈子	東京大・総合文化	P1-64, P2-64
○	齋藤竜也	東海大海洋	P2-39
○	酒井麻衣	京大野生動物研セ	P1-67
	坂井恵	名古屋大・情報科学・複雑系	P1-24
○	坂井陽一	広島大・生物圏	P2-43, P2-45
	坂田はな		
	坂本陸王	枚岡樟風高 農と自然	P1-74
	崎山朋子	神戸大・理・地球惑星科学	P2-04, P2-05
	櫻井一彦	成城大・社会イノベーション	P2-27
○	佐久間正幸	京都大・農・応用生物	P2-23
○	櫻井麗賀	立教大・理・生命理	P2-08
	櫻岡拓也	東海大・海洋・海洋生物	P2-39
	桜谷保之	近畿大・農・環境生態	P2-55, P2-75
○	佐々木那由太	筑波大・院・生命環境	P1-14
○	佐々木雅大	海洋大・館山ステーション	
○	笹原和俊	名古屋大・情報	P1-52
○	佐藤杏奈	京大 霊長研	P2-70
	佐藤綾	東北大・生命	P1-46
○	佐藤拓也	東海大学海洋	P2-37
○	佐藤俊幸	東京農工大・農・獣医	P1-05, P1-20, P2-24, P2-63
○	佐藤成祥	長崎大院・水産	P2-33
	佐藤祐也	東海大・海洋・海洋生物	P2-39
○	佐藤芳文	京都医療	
○	座馬耕一郎	林原類人猿研究センター	P2-71
○	施 辰豪	東京海洋大	
○	塩見こずえ	東京大・大海研	P2-51

○ 篠田諭	広大院・理・数理分子生命理学	P2-03
○ 渋谷園実	東大院・新領域・自然環境	P2-18
○ 島谷健一郎	統数研	P2-53
島田将喜	帝京科学大・アニマルサイエンス	P2-72
○ 下地博之	琉球大学・農	P1-09
白戸亮吉	山形大院・理工	P1-05
○ 末廣 亘	岡大院・環境・進化生態	
○ 杉本親要	琉球大・理・海洋自然	P2-34
○ 村主暁重	東海大・海洋・水産	P1-45
○ 洲崎雄	岡大院・環境・進化	P2-19
○ 鈴木研太	JST-ERATO・岡ノ谷情動情報	P1-55
○ 鈴木翔子	東海大海洋	P1-39
○ 鈴木誠治	北大・農	P2-12
○ 鈴木俊貴	立教大・理	P1-58
○ 鈴木真理子	京大・野生動物	P2-68
鈴木泰博	名古屋大・情報科学・複雑系	P1-24
○ 須之部友基	海洋大・館山ステーション	P1-40, P2-38, P2-42
○ 角拓人	岡山大院・環境生命・進化生態	P1-12
関口雄祐	千葉商大・商経	P1-69
○ 関澤彩真	大阪市立大学・院理	P2-29, P2-30
○ 相馬雅代	北大・院理	P1-53, P1-54, P1-60, P1-62, V-3
○ 曾我部篤	北大・浅虫臨海	P2-01
○ 高須賀圭三	神戸大・農・昆虫多様性	V-7
○ 高田守	東京農工大・院・連合農学	P2-24
高橋 宏司	京都大学フィールド研	P2-46
○ 高橋玄	筑波大・生命環境・生物	P2-25
○ 高橋大樹	東海大海洋院	P1-45
○ 高橋佑磨	東北大・生命科学	R1
○ 高見泰興	神戸大・人間発達環境	P2-14, P2-26
竹内 剛	京大・生態研	P2-10
○ 竹内勇一	名大・理・脳機能構築学	P2-47
○ 竹垣 毅	長崎大・院水環	P1-41, V-2
○ 武田浩平	総研大・先導研	P2-56
○ 武山智博	大阪市大・院理・生物地球系	P2-40, P2-41, P2-48
○ 田島裕介	筑波大・院・生命環境	P1-15
○ 多田篤司	広島大学院・生	P2-43
○ 立田晴記	琉球大・農	P1-19, P1-22, P2-13
○ 田中豊人	都健安研・薬環・生体	
○ 谷あゆみ	九州大・シス生・シス生	P2-62
谷山雅美	大阪市立大・理・生物	P2-40
○ 種田耕二	高知大・理・生物科学	P1-16
田谷以生	近畿大・農・環境生態	P2-55
○ 蔡永海	高知大・農・昆虫生態	P1-28
塚田敦志	東海大・海洋	
○ 土屋香織	北大・農・昆虫体系	
○ 筒井康太	名古屋大・環境	P2-58
○ 鶴井香織	弘前大・男女共同参画	P1-25
徳永春陽	佐賀大・農	P2-15
○ 戸松紗代	海洋大・館山ステーション	P2-38
○ 都丸雅敏	京工織大・ショウジョウバエ	

○ 富菜雄介	北大・院・生命科学院	P1-32
○ 豊川 航	北大・文・行動システム	P1-73
鳥越祐樹	同志社大・知覚認知脳神経機構研究室	P2-65
○ 土畑重人	琉球大・農	P2-06
○ 中嶋康裕	日大・経済	P2-29, P2-30
○ 中田兼介	京都女子大	P1-27, V-7
夏坂美帆	帯畜大・野生動物管理	P2-61
○ 植島弘隆	東海大海洋	P2-39
○ 西林孝紘	琉球大学・理工・海洋自然	P2-35
野々垣初音	大阪市大・理・生物	
○ 野間口眞太郎	佐賀大・農・応用生物	P2-16, P2-20
○ 長谷和子	東大院・総合文化・広域システム	P2-50
○ 長谷川英祐	北海道大学院・農・生物生態体系	P1-06, P2-07, R2, S
長谷田 仁	株式会社豊田中央研究所	
濱尾章二	国立科博・動物	P2-52
林進	鹿児島大・教育	
○ 原田貴大	東海大海洋	
○ 原田龍一	佐賀大・農	P1-47
○ 原野智広	総研大・先導科学	P1-01
○ 日室千尋	岡山大院・環境・進化生態	P2-17
○ 平山幸恵	広島大学生物圏科学研究科	
○ 深野祐也	九大・理・生態	P1-20, P1-21
○ 深谷 緑	東大・農・森林動物	P2-21
藤澤隆介	八戸工業大学	P2-06
○ 藤本真悟	琉球大・院・理工学	P1-42
○ 古市生	九大・理・生態	P1-07
○ 細川貴弘	産総研	
堀田崇	大阪市立大・院・理	P2-41
堀内洋平	近畿大・農・環境管理	P2-75
○ 堀江明香	大阪市立大・理学研究科	P2-59
○ 堀部直人	ディスカヴァー・トゥエンティワン	
○ 本郷儀人	立命館大学	P2-22
○ 本間 淳	ユヴァスキュラ大・生物	P1-26
松枝敦夫	(株) 知能情報システム	
○ 松阪崇久	関西大・人間健康	P2-73
○ 松村 哲	東海大・海洋	P2-39
○ 松村健太郎	岡山大学・環境生命科学・生命環境学	P1-17
○ 松本有記雄	長崎大院・水産環境	P1-41, R1
○ 丸山航	神戸大・人間発達環境・人間環境	P2-14
三日月茜	枚岡樟風高 農と自然	
右田正夫	滋賀大・教育	P2-28
○ 水口大輔	京大・野生動物	P1-70
○ 水谷友一	名大院・環境学	P2-54
○ 三高雄希	京大院農・昆虫生理	P2-23
○ 三谷曜子	北大・FSC	P1-68
三井美佳	神奈川工科大学・工・機械	P2-74
○ 三登龍一	琉球大院・理工・海洋自然	P1-36
○ 宮竹貴久	岡大院・環境生命	P1-12, P1-17, P2-19
向井裕美	鹿大院・連合農	P2-15, P2-16, P2-20
○ 武藤直樹	筑波大・生命環境・生物	P1-11
村井千寿子	玉川大	P2-69

	村上大賀	北海道大・農学院・動物生態	P2-07
○	村松大輔	京大・野生動物	P1-29
○	森阪匡通	京都大・野生動物研セ	P1-66, P1-67
○	森田理仁	総研大・先導科学・生命共生体進化学	P1-72
○	森本幸太郎	神戸大・人間発達環境	P2-26
○	森貴久	帝京科学大・生命環境・アニマルサイエンス	P1-75
○	八木 議大	北大院・農・生物生態体系	P1-06
○	安井早紀	京大・WRC	P1-63
○	安井行雄	香川大学・農・昆虫	
○	安室春彦	琉球大院・理工・海洋環境	P1-34
	安元暁子	早稲田佐賀高等学校	P2-11
	矢田直之	神奈川工科大学・工・機械	P2-74
○	山 梨津乃	日本大・生物資源科学	P2-29
	山内孝太	大阪市立大学	
○	山口幸	九大・院・理	P1-30
	山崎千登勢	北大・環境科学院	P1-44
○	山田恭史	同志社大・生命医科	P1-65
○	山本純也	名古屋大院・環境	P2-60
○	山本結花	岡大・環境・進化生態、京大・農・昆虫生態	P1-10
○	遊佐陽一	奈良女子大・理・生物	P1-30
	油田照秋	北大・環境科学院	P2-57
○	横川翔大	海洋大・館山ステーション	P2-42
	吉川冴子	東海大海洋	
	李寧	大阪市大・院・理	P2-48
○	雷舒涵	中国海洋大学・水産	
	渡邊綱介	北海道大・理・生物	
○	渡辺 守	筑波大・生物	P1-11, P1-13, P1-14, P1-15